

学校だより

11月号

平成26年11月21日(金)発行

砺波市立庄南小学校

ホームページ <http://shounan-e.el.tym.ed.jp/>

〒939-1322 富山県砺波市中野1216

TEL 0763-33-2466 Fax 0763-33-2467

庄南っ子

学びがいを感じる子供を目指して

研究主任 山田 由紀子

本校は昨年度から2年間、富山県小学校教育研究会の研究推進校の指定を受け、算数科の学習の進め方を研究してきました。そして、今月6日には、その集大成として、県西部の学校から来校された150名を超える参観者に、1年、4年、6年の子供たちが、積極的に算数科の授業を進めている姿を見ていただきました。算数ブロックを操作しながら、友達にひき算のやり方を一生懸命説明している1年生の姿や、学習した面積の求め方を生かして難しいチャレンジ問題に喜んで挑戦している4年生の姿、画用紙やペットボトルのふたなど身近な生活にある物の数を、比例の考えを生かして数える発展的な問題に根気強く取り組む6年生の姿など、子供たちが楽しみながら学んでいる姿にたくさんのお褒めの言葉をいただきました。また、参観者を誘導する係を担当した5年生の子供たちのさわやかな挨拶や受け答えも大評判で、庄南っ子のよさが輝き、これまでのがんばりが実を結ぶよい一日となりました。

さて、本校の目指す子供の姿は、「学びがいを感じる子供」です。1時間の授業の中で、最初は分からなかった問題でも、友達の考えを聞いたり、一緒に考えたりすることによって、授業の最後には「分かった」「できた」「がんばった」「楽しかった」と、一人一人が学びがいを感じるような授業を目指しています。そして、学びがいを感じた子供たちは、家庭学習で進んで算数の問題に取り組んだり、生活の中で算数の考えを使ったりして、算数を楽しむことでしょう。このような子供の姿を目指して、教職員一同、さらに日々の授業に取り組んでいきます。

読書環境を整える

読書指導 山本 陽光

本校では、子供たちに本を紹介する活動を多く取り入れています。担任の他、校長や学校図書館司書が月2回、地域ボランティア「紙ふうせん」の皆さんが月1回の読み聞かせを行っています。また、学期に1回(パレットの日)、市の移動図書館による図書紹介と図書の貸し出しも行われています。児童による図書委員会からは、みんなにたくさんの本を読んでもらえるように、学年毎に年間目標冊数(1・2年生60冊、3・4年生50冊、5・6年生40冊)が掲げられています。まだ半年しか過ぎていない11月に、この目標冊数をすでに達成している子供が何人もいます。今後も、読書環境を整え、読書好きな子供を増やしていきたいと考えています。

最近、家での読書「うちどく(家読)」の大切さに目が向けられています。家族で感想を話し合ったり人にすすめたりして言葉にすることで、読解力はもちろん表現力やコミュニケーション能力を高めることにもつながると言われています。読書は子供も大人も一緒に成長し、心の豊かさを育む活動でもあるようです。ぜひ、「うちどく(家読)」を試みられてはいかがでしょうか。